

《音楽》の正しい聴き方

13人のリスナーによる“耳”を広げる音楽の聴き方トークライブ2日間

岩崎和夫 ラジオ関西『青春ラジメニア』パーソナリティー

オオルタイチ 音楽家

北夙川不可止 歌人・コラムニスト

クリストファー・スティヴンズ 翻訳家

櫻田和也 NPO法人記録と表現とメディアのための組織 [remo]

佐々木敦 批評家

佐藤武紀 音響作家

tofubeats トラックメイカー・DJ

服部滋樹 graf代表・デザイナー・クリエイティブディレクター

藤本由紀夫 アーティスト

細馬宏通 滋賀県立大学人間文化学部教授

森本アリ 音楽家

安田謙一 ロック漫筆

新開地ミュージックストリート2010 KAVC企画

2010年5月8日(土)・9日(日)

12:00~20:00 入場無料 / 入退場自由

※満員の場合は入場を制限させていただく場合がございます。

神戸アートビレッジセンター
1F KAVCギャラリー



《音楽》の正しい聴き方

13人のリスナーによる“耳”を広げる音楽の聴き方トークライブ2日間

MP3、iPod、YouTube、USTREAM……音楽を取り巻く環境が急激に変化する中、最近どうも何をどう聴けばいいのかよくわからなくなってきたあなたに贈る2日間。各シーンで活躍する気になるあの“リスナー”たちがさまざまな音源を持ち寄りそれぞれの聴き方について数珠つなぎトーク。J-POP、クラシックから、現代音楽、ジャズ、ハードコア、アニソンまで、あなたの音楽の幅を一気に広げます。演奏はないけど、これはある意味今年最初の「フェス」だ!!!

5/8 sat



12:00～「音楽・最初の一秒」
藤本由紀夫 (アーティスト)

1950年生まれ。大阪芸術大学音楽学科卒。70年代よりエレクトロニクスを利用したパフォーマンス、インスタレーションを行う。80年代半ばよりサウンド・オブジェの制作を行う。2001年、2007年ヴェニスビエンナーレ参加。



13:00～「阪神間で花開いたクラシックと古楽」
北夙川不可止 (歌人・コラムニスト)

1964生まれ。谷崎の傑作「細雪」の舞台、阪神間の空気を吸って育つ。高校時代からバロックにはまり、大学ではパイプオルガンに触れる。現在、NHK文化センターにて短歌と近代建築の講座を受け持ち、雑誌『あまから手帖』などでも活躍。美少年好きのゲイで、大の愛猫家。伯爵のあだ名で親しまれている。



14:30～「メイド・イン・ジャパン!!!!」
クリストファー・スティヴンス (翻訳家)

1964年アメリカ生まれ。関西に滞在して20年以上になる。80年代初期に登場したカリフォルニアのパンク・ノイズ・トリオ「Assholes」のオリジナル・メンバー。2009年に休刊になった英字月刊誌「関西タイムアウト」の編集長を長年勤め、大学の教師でもある。



15:30～「ポストパンクの反資本主義」
櫻田和也 (NPO法人記録と表現とメディアのための組織 [remo])

オルタナティブ・メディアに関する調査研究および展覧会等の企画・制作。訳書にフランコ・ベラルディ (ピフォ) 著『プレカリアートの詩』河出書房新社。近著に論文「自律的メディア生産のメソッドロジー」『アナキズム』13号。



16:30～「辛そうで辛い少しいロック漫筆」
安田謙一 (ロック漫筆)

1962年1月25日神戸市生まれ。著書に「ピントがボケる音」(03年、国書刊行会)、「すべてのレコジャケはバナナにあこがれる」(市川誠との共著/04年、太田出版)がある。「ロックンロールストーリー★ステレオ! これがロック漫筆 vol.1」(辻井タカヒロとの共著/音楽出版社)が出たところ。



18:00～「平成生まれの“レコード”考察」
tofubeats (トラックメイカー・DJ)

1990年生まれ。スーフアミと同年。神戸にてアイドル、アーバン、アシッドハウスを標榜したりしなかったりしつつ、波形を切り貼りしたり打ち込んだりした音源を製作 & 公開中。2010年3月にはiTunesStore限定で3曲入りEP"BIG SHOUT IT OUT E.P."をリリース。



19:00～「誰も聞いたことのないグループ感」
オオルタイチ (音楽家)

バンド・ウリチパン部をはじめとする数々のユニットやセッションで活動するモリグチタイチのソロ名義。1999年ドアーズ、レジデンツ、ダンスホールレゲエから受けた幾多の煌めきを濃縮するべく、活動をスタート。国内外問わず活動を展開。また舞台、ダンスパフォーマンス等への音楽提供など、多岐に渡る。

聞き手と進行

岩淵拓郎 (美術家・執筆編集者) 1973年生まれ、主に言葉とその意味をモチーフとしたマルチプルなどを発表。同時に各種メディアでの執筆と編集、ネットやミラゾロなどパーソナルメディアによる情報発信の実験と実践を行っている。京都造形芸術大学非常勤講師。アートNPO「芸術と計画会議 (C.A.P.)」メンバー。最近よく聴いているのはポップ・ドローと須山公美子とフレディー。

佐藤亘 (音楽家) 1980年生まれ。主な活動としては1人ミニマルプロジェクト「もぐらが一周するまで」。火曜と日曜を除く朝～夜は某百貨店某館のバイヤー。

企画・制作・主催

主催●神戸アートビレッジセンター[大阪ガスピネスクリエイト (株)] 企画・制作●神戸アートビレッジセンター、メディアピクニック

5/9 sun



12:00～「僕の生活と音楽」
服部滋樹 (graf代表・デザイナー・クリエイティブディレクター)

1970年大阪生まれ。198年に大阪南堀江にショールーム"graf"をオープン。2000年"decorative mode no.3"設立。同年、中之島に移転し、"graf bld."を設立。オリジナル家具の企画・製作・販売、店舗・住宅・建築設計、施工、グラフィックデザイン、ブランディングに至るまで幅広い活動を行う。



13:00～「人と場所と音楽」
森本アリ (音楽家)

雑多に音楽を続けた結果、ゲームボーイ、口琴等はそこそこの評判。ほっこり系爆裂プラスバンド「三田村管団?」、脱力トランペット楽団「ペ・ド・グ」ほかで活動中。神戸、塩屋の築100年の洋館「旧グッゲンハイム邸」管理人として塩屋音楽会企画運営も務める。



14:30～「アニソン今昔」
岩崎和夫 (ラジオ関西『青春ラジメニア』パーソナリティー)

1953年東京生まれ。神戸在住31年目。大学を卒業して奈良の中学校で教師として2年務めた後、ラジオ関西にアナウンサーとして入社。2001年、同社を退社してフリーとなる。89年にスタートしたアニメソング番組『青春ラジメニア』は22年目に突入。趣味・特技は落語。



15:30～「山田耕祐...90年代J-POP...私...」
佐藤武紀 (音響作家)

舞台音楽、音響を主に、施設の音響設計、DJなども行う。2005年より劇団維新派、音響担当。また美術家として、自宅居間を展覧会場に引越して生活するプロジェクト「出張マイハウス」を展開する。



16:30～「音楽の始め方、音楽の終わり方」
細馬宏通 (滋賀県立大学人間文化学部教授)

西宮市生まれ。日常の身体動作とことばの関係を研究している。19世紀以降のメディア史にも関心を寄せる。著書に「絵はがきの時代」「浅草十二階」(青土社)。バンド「かえる目」ではボーカルと作詞作曲を担当。



18:00～「インディペンデント音楽とローカルティ」
佐々木敦 (批評家)

1964年生まれ。HEADZ主宰。雑誌『エクス・ポ』および『ヒアホン』編集発行人。早稲田大学、武蔵野美術大学、東京藝術大学非常勤講師。『文学拡張マニュアル』(青土社)、『ニッポンの思想』(講談社現代新書)、『批評とは何か?』(メディア総合研究所)など著書多数。



19:00～リスニングセッション「最近何聴いてる?」
ファシリテーター: 佐々木敦

「ところで最近何聴いてる?」そんな問いにゲストもお客も入り乱れて答えるリスニングセッション。お手持ちのiPodにレコメンしたい音源を入れてご参加ください。もちろん聴くだけでもOK。

2010年5月8日(土)・9日(日) 12:00～20:00

入場無料 / 入退場自由 ※満員の場合は入場を制限させていただきます。

神戸アートビレッジセンター 1F KAVCギャラリー

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地5-3-14 <http://kavc.or.jp> 【お問い合わせ】078-512-5500



【新開地ミュージックストリート (SMS) とは】 新開地は、映画館や芝居小屋が立ち並び、神戸の庶民文化の中心地でした。この街にかつての賑わいを取り戻そうと、地元住民や商店街のみなさん、まちづくりNPO、神戸アートビレッジセンター、行政などが連携し、街じゅうを舞台に平成12年に始まった音楽イベントが「新開地ミュージックストリート」です。



●高速神戸「新開地」東8番出口より徒歩5分 ●JR「神戸」北出口より徒歩10分 ●神戸市営地下鉄「湊川公園」より徒歩15分